

教科(科目)	地理歴史(地理総合)	単位数	2単位	学年	1学年
使用教科書	わたしたちの地理総合 世界から日本へ(二宮書店) 基本地図帳(二宮書店)				
副教材等	なし				

## 1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>卒業までにこのような資質・能力を育みます。</p> <p>①明確な目標を設定し、その達成に向けて継続的に努力できる力を育成します。</p> <p>②主体的・意欲的に学びに向かう姿勢と、誠実で礼儀正しい態度を育成します。</p> <p>③前向きに自己の向上に努め、思いやりを持って行動できる力を育成します。</p> <p>④自ら課題を見つけて解決しようと行動し、社会に貢献する力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います。</p> <p>①基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、ICTの活用など工夫をし、生徒が主体的・対話的に学習に取り組めるよう「分かる」授業の実践・改善に努めます。</p> <p>②総合的な探究の時間では、教科等横断的な視点で、地域社会と自己との関わりから課題を発見し、多様な他者と協働して解決しようとする活動に取り組みます。</p> <p>③生徒個々の持っている長所・能力を最大限伸ばし、生徒が自らの可能性に挑戦し、進路希望を実現できるようキャリア教育を推進します。</p> <p>④社会に貢献する姿勢を身に付けさせるために、新潟県立大学との交流、地域行事への参加、ボランティア活動などへの積極的な参加を促進します。</p>

## 2 学習目標

<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせて、公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技術を身につけるようにする。</p> <p>(2)地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3)地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。</p>
--

### 3 指導の重点

進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから

- ① 国や都市、地形の名前と位置など、基礎的な事項を繰り返し学習することで確実な習得を目指します。
- ② 世界の生活文化の多様性を学習し、自国の文化とともに世界の文化を尊重する態度を育てます。  
読図や情報の表現など地理的技能を学び、防災や地球的課題に取り組もうとする態度を育てます。

### 4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代世界の地域的特色を理解するとともに、諸資料から情報を適切に調べまとめる技能を身につけるようにしている。	地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、課題の解決に向けて構想する力、それらを説明したり議論したりする力を養おうとしている。	積極的に学ぼうとする態度を示すとともに、地理的諸事象について、課題を主体的に解決しようとする態度を示し、また自国とともに他国や他国の文化を尊重することを大切に示す態度を示している。

### 5 評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。			
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	定期考査、小テスト、提出物の取り組み状況や提出状況、授業中の発言や参加状況などから評価します。	定期考査、小テスト、提出物の取り組み状況や提出状況、授業中の発言や参加状況などから評価します。	小テスト、提出物の取り組み状況や提出状況、授業中の発言や参加状況などから評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。		

### 6 学習計画

月	単元名	教材名	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4	1章 地図とGISの活用	第1節 球面上の世界	緯度や経度のしくみ、時差についての理解を深め、世界地図の様々な図法とその表現の特徴から、適切な利用について判断できるようになる	3	授業態度（発言や取り組み状況） 提出物への取り組みや 提出状況 小テスト 定期考査
		第2節 国家の領域と領土問題	国家が成り立つ条件を確認し、国境の定めかたや領土問題、日本の位置と日本の領土に関する問題について調べ、知識を整理する。	2	
		第3節 国内や国家間の結びつき	世界の国々の結びつきを経済圏や観光の視点から捉え知識を確認、整理する。時間距離の意味を理解し、交通、通信の発達による生活の変化について、地図を読み解きながら確認する。貿易、物流による結びつきを確認する。様々な統計地図についての理解を深め、適切な使い	4	
5					

	定期考査		方を判断できるようになる。		
6	2章 生活文化の多様性 と国際理解	第4節 日常生活のさまざまな地図	身近な地図が用途ごとに作成されていることを理解する。GISの仕組みを理解し、デジタル地図を活用する技能を身につける。	3	
7		1節 自然環境と生活文化	地形を作る力、山地、平野、海岸の地形について理解し、その地形を活かした人々の暮らしについて考える。 地形図の特徴を理解し、情報を読み取れるようになる。 地球上の気候の成り立ちを理解し、様々な気候に対応した人々の生活について考える。 様々な写真から情報を読み取り、考え、まとめられるようになる。	9	
9	定期考査	2節 産業の発展と生活文化	農業の地域性やそれに対応した人々の生活文化との関連性を理解し、考えをまとめる。工業の発展と人々の生活の変化について理解し、考えをまとめる。	8	
10		3節 言語・宗教と民族文化	世界の言語を確認し、その歴史的背景を考える。 世界宗教について理解し、分布の特徴、社会や生活との関わりを確認する。 民族の定義を理解し、様々な文化への理解を深め、民族共生の必要性和大切さを考える。	9	授業態度（発言や取り組み状況） 提出物への取り組みや提出状況 小テスト
11	定期考査	4節 グローバル化の進展と生活文化	EU、アメリカを例に、地域統合による生活文化の変化や、グローバル化による経済成長について理解し、その課題を確認する。	6	定期考査
	3章 地球的課題と国際協力	1節 人口・食糧問題	人口増加地域の問題、人口停滞地域の問題について理解し、その課題と対策を整理し考える。 人口問題と関連して食糧問題について理解し、その解決への取り組みを調べる。有効な国際協力のあり方を考える。	5	
		2節 居住・都市問題	都市の人口増加の原因と引き起こされる課題について理解する。それぞれの課題解決への	3	

12		3 節 資源・エネルギー問題	方法を考察する。  世界の資源やエネルギーについて、その生産、消費の特徴と課題について理解する。これからのエネルギーのあり方について調べ、自分の考えをまとめる。	4	
1	定期考査	4 節 地球環境問題	地球温暖化、熱帯林減少、砂漠化について、その要因を整理し、課題解決への取り組みを考える。  複数の事象の因果関係を整理して表現することで、問題構造を捉えやすくする方法を確認する。	4	授業態度（発言や取り組み状況） 提出物への取り組みや 提出状況 小テスト 定期考査
2	4 章 生活圏の諸課題	1 節 自然環境と防災	日本の自然環境の特徴を理解する。様々な災害について整理し、その対策の重要性を理解する。防災、減災について自分に関係することとして捉え、行動や取り組みについて考える。	6	
	定期考査	2 節 持続可能な地域作り	地域調査の実施手順と方法について理解する。  地域の課題を調べ、様々な方法で調査し、結果を分析、考察し、まとめて発表する手法を身につける。	4	

計 70 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

毎回の授業のノートを、数ヶ月ごとに確認します。  
単元によっては授業中に作業プリントを行い、提出してもらいます。

## 8 担当者からの一言

世界の国々に関する基本的な知識や、各国の生活文化についての理解は、グローバルな現代社会を生きる上でとても大切です。社会に出てからも役立つ力をぜひ養っていきましょう！

(担当：市村 清貴)